



△

い、是等の些事を以て論争してゐる程、我政界は閑散なのでは無い、新年

に有る

がない、行ける所まで行け、夫れが憲政會の眞情、緊張味を缺く所以も亦茲

た政局を暗示するのであらう、口には解散を唱へてゐるが、風吹けば靡かむとする本黨と幫間研究會が目の先に忘れられず、一年の壽命を無駄ならしむるのも惜しい。然ならば局面を轉換して

自然は厄日二百十日を無事ならしめたが、我が政界は、投げられた怪寫眞事件に依つて意想外の波紋を描いてゐる。事件の経過は假令政府の發表に誤があるにせよ、事件そのものは夫れ程

大事件ではない。之を理由として政府を糾弾し、朴烈に對する判決の不當を論するのは早計でもあり亦大人氣な

度に於て實現すべき政策の宣言が、眞面目に對して爲すべき多くを持しながら尙蠅牛角上の争に耽つてゐるのは、夫れこそ國家の不祥事。

勢し民心を離るゝことと黨の分裂が恐  
れ行すれば地方に於ける政本合同を助  
けし。何か新面目をと漁つてゐるが是  
も亦悲しい哉持合せがない、政友會に

走るも大義名分上出来ない相談、さらばとて政本提携の約に従つて新黨を樹立して新天地を創始し憲政會に抗せむとしても、第一黨の誇に酔つてゐる政友會は賛成しない、黨そのものゝ持続に悩み、此處展開の見込が立たない。

後藤子、本黨の此窮状を看抜いたものか、又々政本合同の斡旋に奔走してゐるとの噂、體が既成政黨を蔑視した筈の子、今更合同の斡旋でもあるまい出来ない否な爲すべからざる合同論、之に盡す積りなら前言政治の論理化を取消しての上のこと。

自稱第一黨の政友會、之も亦解散を恐るゝことに於て前二者に劣らない、蓋し解散後に於て勝算の見込が無いのと、準備がない爲である、怪文書事件、

怪文書事件、と内閣不用意の穴を漁つて、政争に供せむとしてゐるが、問題は小さい、之に依つて内閣を我が手に收め、解散に備へむとしても、社會は必ずしも政友會の内閣を歓迎するものでない。

見よ、大阪市の補缺選舉の成績を、二區とも既成政黨の候補者は落選したではないか、政治上に何か新らしきものを要求する民心の歸向を示した顯著な事實である。

吾人は既成の三政黨に注意する、從來の關係があつて、今更解黨爲す能はずむば國民の希望する新政策を樹立して、之が實現に努めよ、夫れが諸君のことであると、財政に餘裕ある年はと愚弄するもの足れ以上の言分はあるまい。

誰か言ふ、財政豊富なときを待つて執行する事業を計畫することが、緊縮主義の下に積極的に事業を執行することであると、財政に餘裕ある年はと聞けば、大正二十年度以降であると言ふ五年後に着手する事業を今日に計畫

△ ▽

與黨憲政會、依然緊縮主義の下に明

年度豫算編成さると聞き、附言辯護し

て曰く、名目は緊縮でも必要な事業を

打切るので無い、其の實質は積極的に

事業を執行するのであると、黑白を混

淆した不透明な言分、不透明な政策、

國民は三歳の童兒ばかりで無い、世を

愚弄するものはれ以上の言分はあるま

すること、夫のが憲政會連中の言ふ積極的事業、起債の許可に奔走してゐる大阪市やら其の他の大都市、君等が今市民の爲に執行せむとする事業は、之を五年後に執行せよ、然らば起債は今から許可して置く、之が現内閣の財政方針、判つたか市民否な國民一般。

起債の不許可に拘はらず事業を執行する途がある、曰く市町村の公營事業を私設會社に特許すること、道路——軌道——地下鐵道、總てのものを私設會社に施設せしめ、起債許可の時期に知れた不利益であるが、五年後の事業を計畫するよりは國民の爲。

憲政會の政務調査會、次田内務省土木局長を招いて、我國道路政策の概要と之に對する意見を聽く、政黨の連中が道路問題を研究するに至つたことは、遲滞ながら殊勝の至り、次田局長は從來の道路政策を諄説し、道路法の制定と政策の確立は出來ても道路改良の實は擧らない、行き詰つた此政策の實行を開拓する手段と方法を研究するのが刻下の緊急事であるを述べ、歐米各國の道路政策、殊に自動車發達後に於ける各國の道路政策に比較論及して、道路改良の急務を力説し、代議士達に道路熱を鼓吹す。

可い機會であつた、在野當時は農村の開發、産業進展の爲に道路改良を力説しながら、一度政權を把持すれば前言を忘るゝ某黨とは違つて、政府與黨の調査會である、聽くだけが能でないのは放送局であつた、三局獨立無意味の爲に計畫されたのが社團法人日本放送協會、蓋し適切な目論見、併しながら常に官吏を事業經營の無能力者視する民間事業家が、此協會の組織に限つて官吏を尊重したのが禍根、之を好機に監督權を翳して柄にもない、國家干渉の實を擧げむとした遞信省の非違

言を忘るゝ某黨とは違つて、政府與黨の調査會である、聽くだけが能でないのは放送局であつた、三局獨立無意味の爲に計畫されたのが社團法人日本放送協會、蓋し適切な目論見、併しながら常に官吏を事業經營の無能力者視する民間事業家が、此協會の組織に限つて官吏を尊重したのが禍根、之を好機に監督權を翳して柄にもない、國家干渉の實を擧げむとした遞信省の非違

糾撃さるのも當然。

放送事業の性質と、其の効果に立脚して國家干渉の合理なることを高調するならば、民營を排して國營とすべき

手腕家の妙い遞信省、ヤレ乗合自動車ソレ索道と仕事の範囲を擴張するのが能でない。既存事業の發達に一意專心なれ。

もの、之を爲さず爲すの能力なくして

民營事業の官僚化を策せむとす。其の根底に誤を藏す、放送事業の國營或は可、併しながら其の可否を決するには國營電話事業の成績を觀るが肝要。

世界電話普及率千人當十四個、之に及ばざること五個の低位に在つて、尙縱斷派、之に對抗する横斷派、互に鎬を削つて相争ふ、大臣は合同問題に干知せずと、事政務兩次官の言ふ所も亦レミアム附電話市價、高價な架設費の徵收、國民の要求を無視した官業振、電話でさへ碌に經營出來ない遞信省、之に放送事業を託して文化の進展を抑へむとするは、言はずも知れた不得策

爲に合同問題宙に迷ふ、政府近頃の醜態、交互計算の統一が運賃低下の主因なら、全國的合同を策せずとも可、合同の最終目的が一驛一店主義に在りとせば、當局の無謀に驚く、運賃の獨占的決定、無競争より招來する業務改善の不勵行、合同の必然的弊害は、現すること、吾人年來の主張、鐵道省之に醒めて、運送業者の全國的合同を慇懃す、此勸告に應じて合同に着手した

本合同に依つて、運賃の共通的決定を策するに在れば、先づ自らの鐵道運賃引下けを策せ、夫れが賢明の策、小運送費の低下を之に依つて策するのは愚官民共に忘れてゐた道路の改良を策せ。

△ △

△ △

二十年來の炎暑、道路交通事故を頻發せしむ、歩行にも心勞、程度超過の

マテ鐵道省は他省と違つて、單獨官廳

行路難、神經病者を増加せしむるのも、無理はない。

電車の進行を遮つて、運轉手から馬鹿野郎と言はれた陸軍中尉、名譽毀損の訴訟を提起す、軍隊も道路交通の物體、交通制限に服従するのは當然、併しながら其の制限は軍隊に當然適用されない。軍事尊重の我が國、唯だ軍事

上支障なき範圍に於て、道路交通制限の進行中の電車を横切つて、運轉手が馬鹿野郎と言つたとせば、運轉手の言必ずしも咎むべきでない、當然すべきことを言つたに不過。

▽ △

問題の種を尋く東京市道路、櫻田門に依れと陸軍達あるのみ、道路左側通行の制限も、交通互讓の律も軍隊は一向無頓着。

——虎の門間道路の鋪装を完了して僅か二箇月、又之を掘返して工事費十二萬圓を空費す、東京市の財源は豊富で

なかつた筈、貧乏序に焼け糞氣味になつたのでなかつた、官廳敷設の爲対側の司法省を縮少し、歩道にする計畫を政府が強要した爲であつた、假令政

府が補助する鋪装工事にしても、失つ

た工事費の半額は市民の負擔に歸す、原因是大藏省建築部と、市との交渉市民こそ可い面の皮。

連絡の不統一に座す、街路補助を出したるには及ばない、道路費の財源は正當の所に求むれば可、是等の原因を極めずして放たれた、市道路局に對する無方針の非難を反駁する必要がある、慥か局長牧博士は弱腰の男ではなかつた筈。